



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.70

令和4年2月3日

文責：校長 伊藤 孝行

今日は節分で明日は立春です。



毎日、不安になるようなニュースが続いていますが、今日は節分で、明日は立春、暦の上では春の始まりです。春という言葉聞くだけでも気持ちが明るくなるような気がします。これから「雨水（うすい）」、「啓蟄（けいちつ）」、「春分」、「清明（せいめい）」、「穀雨（こくう）」と季節が廻り、春が深まり夏に近付いていきます。

近頃では恵方巻を食べる風習も広がっていますが、もともとは関西地方の習慣です。

ちなみに今年の恵方は「北北西」になります。

節分といえば「豆まき」の日です。



立春の前の日の「節分」は季節の変わり目です。

昔の人は季節の変わり目には「邪気（鬼）」が生まれ災いが起こると信じられていました。

そのため「邪気（鬼）」を追い払うための儀式として「豆まき」を行っていました。

なぜ豆をまくのかというと、豆・穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっているとされていたこともあり、「魔目（豆・まめ）」を鬼の目にぶつけることで鬼を滅し邪気（鬼）を払い無病息災を願うとされてきました。魔（鬼）を滅する「魔滅」からマメになったとされています。

また、玄関には鬼が嫌う「柊鰯」を飾り、鬼を追い払うこともします。

YouTube では、現代の風潮を取り入れた「農水省のコンプライアンス豆まき」動画が公開されています。

豆まきのもう一つの主役は「鬼」です。

子どもたちに人気の「鬼滅の刃」の中でも、鬼

は人間の様々な「悪」から生まれるものだと言われています。



人間の様々な悪から生まれた鬼の色にはそれぞれに意味があります。

赤鬼は、「貪欲、欲望や渴望」、青鬼は「悪意や憎しみ、怒り」、黄鬼は「後悔や執着」、黒鬼は「疑いや欺き」、緑鬼は「怠惰や過食、不真面目」と、人間の悪い面や弱い面を表しています。

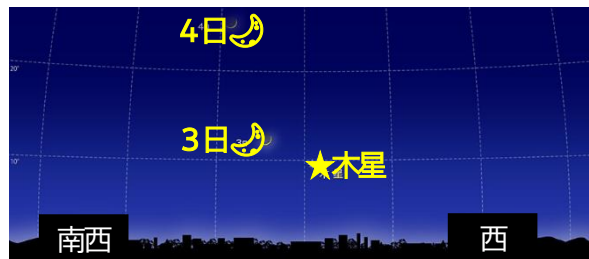
日和田小学校で取り組んでいる「常時換気」！

変異株オミクロン株の流行に伴い、今まで以上に「換気」の必要性が言われるようになりました。



日和田小学校では、上の写真のように空気の流れを考え廊下側の窓の何力所かに（開）のシールを貼り、この窓は必ず開けるようにしています。また、教室の天窗（高い位置の窓）に特殊な金具をつけ、窓を開けたままで換気ができ鍵もかかるようにしています。

2月3・4日は月が木星に接近します。



2月3日には木星に月が接近します。月は新月を迎えたばかりで大変細い姿をしています。

17時10分頃に南西から西にかけて観察できます。寒さと事故に注意してご覧ください。